



目次

新書のすすめ・・・p1

イベント開催報告・・・p3

2017年1月～3月の開館予定・・・p4

新書のすすめ

ちょっと知りたいことがあるけれど、専門書は分厚いし難しそうで、なかなか手が出ない…。そんなあなたにおすすめしたいのが「新書」です。

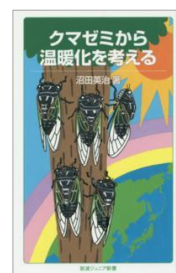
新書は、文庫本（A6判）よりやや大きい小型本の通称で、岩波書店が海外のペーパーバック☆を手本にして1938年に「岩波新書」を発行したのが始まりとのこと。自然科学や社会科学など各分野の専門家が書いていることも多いのですが、基本的には一般の人に向けて平易な文章で書かれており、入門書的な位置づけだと言えるでしょう。話題性のある時事的なトピックを扱ったものもあり、手軽に、幅広く知識や教養を身に付けたい時にはもってこいのツールです。

小さくて軽いので、通学や旅のお供にするもよし、部屋でくつろぎながら読むもよし。まずは1冊、手に取ってみませんか。

知っておきたい!

新書で捉える「いま」

- ❖ 筒井淳也著『結婚と家族のこれから：共働き社会の限界』（光文社新書。光文社，2016.6）
- ❖ 沼田英治著『クマゼミから温暖化を考える』（岩波ジュニア新書。岩波書店，2016.6）
- ❖ 池上彰 [著] 『Gゼロ時代の新しい帝国主義』（角川新書。KADOKAWA，2016.5）



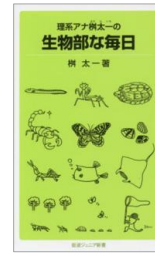
☆1935年、イギリスでペンギン叢書という文学中心の安いペーパーバック（紙表紙本）の叢書が発売されて大成功を収め、1937年には教養書や科学書のペリカン叢書も発売されました。

参考文献：“新書”，ブリタニカ・オンライン・ジャパン，<http://japan.eb.com/>（2016年12月19日参照）

人に歴史あり!?

新書で出会う「著名人」

- ❖ 榎太一著『理系アナ榎太一の生物部な毎日』
(岩波ジュニア新書. 岩波書店, 2014. 7)
- ❖ 山中伸弥, 益川敏英著
『「大発見」の思考法 : iPS細胞 vs. 素粒子』
(文春新書. 文藝春秋, 2011. 1)
- ❖ 福澤諭吉著 ; 齋藤孝編訳『福翁自伝 : 現代語訳』
(ちくま新書. 筑摩書房, 2011. 7)



就活中のあなたに...

新書で考える「働くこと」

- ❖ 森清著『働くって何だ : 30のアドバイス』
(岩波ジュニア新書. 岩波書店, 2006. 4)
- ❖ 水町勇一郎著『労働法入門』
(岩波新書. 岩波書店, 2011. 9)
- ❖ ANA ビジネスソリューション著『ANAが大切にしている習慣』
(扶桑社新書. 扶桑社, 2015. 9)

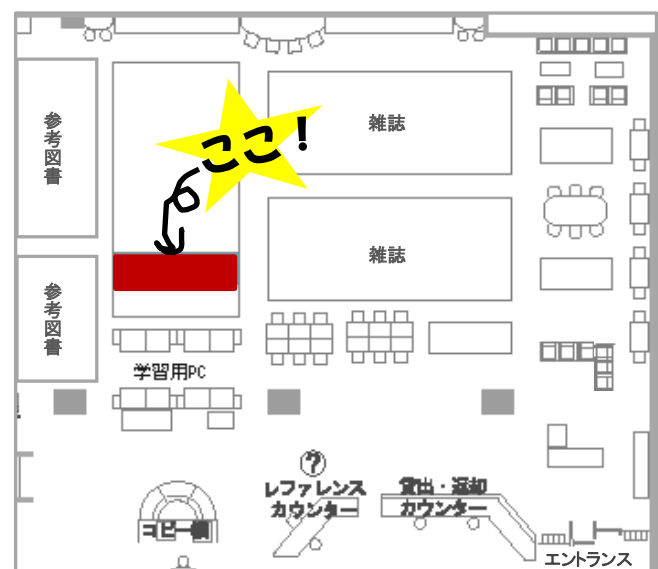


(※書影はすべて KINOKUNIYA WEB STORE より引用)

🔗 新書のコーナー、あります！

OPAC で個々に検索することももちろん可能ですが、「とりあえず本棚で新書だけをざっと眺めたい!」という時は、1Fの書架番号 No. 22~23 の低書架がオススメです。ここには、岩波新書と岩波ジュニア新書がまとめて置いてあります。今後も新しいタイトルが順次増えていく予定です。

(※これ以外の新書は、それぞれの本のテーマに沿った書架に並んでいます。)



イベント開催報告



貴重書庫見学会

12月12日（月）～16日（金）に、今年で開催4回目を数える冬の恒例イベント、貴重書庫見学会を行いました。

参加者の皆様には、普段は立ち入ることのできない貴重書庫内に足を踏み入れていただき、「リンデスファーン福音書」をはじめとする海外のキリスト教関連の古書や、「小学唱歌集」といった日本の貴重書、「赤毛のアン」関連本などを中心にご紹介しました。長い年月を経てもなお鮮やかに残る色彩や、元の持ち主による書き込みの跡を見てとれるものもあり、今日の前にある資料がたどったであろう歴史に、様々な思いを巡らせていただけたのではないのでしょうか。

貴重書庫には、今回ご紹介できなかった資料が他にも多数保存されています。来年以降もテーマを変えて開催していきますので、ぜひご期待ください！



そもそも、“貴重書”とは？

当館では、次の基準に該当する資料を“貴重書”としています。

- ・洋書：1850年以前に刊行された資料
- ・和書：1889（明治22）年（明治憲法発布）以前に刊行された資料

貴重書は、原則としてオリジナル（原資料）です。

また、貴重書の基準には該当しないけれども、貴重書に準ずるものとして保存することが適当と判断したものを、“準貴重書”と位置付けています。

準貴重書には、オリジナルのほか、復刻版や複製版も含まれます。



図書館オリエンテーリング in 「法学」

12月19日（月）2限および4限に、国際社会学科・坪井龍太准教授の「法学」の授業において、図書館オリエンテーリングを実施しました。

この日は約230名の受講生が来館し、スタンプラリーや著作権クイズ、新聞縮刷版で自分の誕生日に公開された映画を調べる課題などに挑戦しました。



受講生からは、「法学の本がたくさんあって驚きました！」、「AVブースやラーニングルームなど、図書館に様々な設備があることを初めて知りました」、「自分が生まれた当時の新聞記事を見るのはとてもワクワクしました」といった感想が寄せられました。普段から図書館をたくさん利用している方も、あまり足を運んだことがなかったという方も、それぞれ新しい発見があったようです。

今後も大学生活の様々なシーンで、図書館をご活用いただければ幸いです。



2017年1月～3月の開館予定

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7 補講日
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23★	24	25	26	27	28
29	30 振替休日	31 一般入試				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 蔵書点検	14 蔵書点検	15 蔵書点検	16 蔵書点検	17 蔵書点検	18
19	20 蔵書点検	21 蔵書点検	22 蔵書点検	23 一般入試	24 蔵書点検	25
26	27	28				

3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10 卒業式	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20★	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30 新学期準備	31 新生入オリ	

	通常開館	8:50～20:00
	短縮開館	9:00～17:00
	閉館	

★1月23日（月） 1～4年生春期休暇長期貸出開始

返却日： 1～3年生 4月13日（木），4年生 3月3日（金）

★3月20日（月・祝） 見学開館（オープンキャンパス） 13:00～16:00

※資料の貸出やレファレンス業務は行いません。

返却を
お忘れなく！



編集後記

新しい年がやってきました。1～3年生は次の学年へ向けて、4年生は卒業へ向けて、それぞれがステップアップの時期を迎えていることと思います。春休み期間の長期貸出はじっくり本を手にするチャンス。普段は読まないジャンルにも目を向け、自分の中に新たな引き出しを作っておくのはいかがでしょうか。
(編集担当：小倉)

☞ 図書館だよりは図書館ウェブサイトからバックナンバーも見ることができます

<http://libweb.toyoeiwa.ac.jp/lib/kankou.html>